長崎医療センター
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS

専齋 SENSAI

2025 JUNE VOL.436

発行所
独立行政法人国立病院機構
長崎医療センター
〒856-8562
長崎県大村市久原2丁目1001-1
TEL 0957-52-3121
FAX 0957-54-0292



ME:メディカルエンジニア(臨床工学技士)の皆さんです。チーム医療を支えるプロ集団です。

プロフェッショナルを紹介します!!
Vol.5　原 貴信

先端医療特集

TOPICS
・ベトナムより留学生来る
（2025冬～春編）

ガーデニングだより　Vol.23

今月の一皿

外来診療担当医一覧

長與 専齋（1838年～1902年）

大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめて採用したのも専齋である。専齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。



プロフェッショナル を紹介します!!

外科医師を志したきっかけは、何ですか。

医学部の臨床実習で外科を回ったときに肝移植を見たことがきっかけでした。肝不全のために意識がなくICUで治療をされていた患者さんが、肝移植を経て回復し、歩いて退院する姿を目にし、感動するとともにこの治療に携わりたいと感じました。外科は予定のみでなく緊急での手術対応も必要となる忙しい科ではありますが、治療を経て元気になられた患者さんの姿、安堵されたご家族の姿を見るたびに外科医になって良かったと感じています。

肝臓の手術が必要となる病気について教えてください。

肝切除の対象となるのは多くの場合、肝臓癌の患者さんです。肝臓癌は、肝臓からできるもの（原発性肝癌）と他の臓器に発生した癌が肝臓に転移するもの（転移性肝癌）に分けられます。このうち原発性肝癌は傷んだ肝臓を背景としてできることが知られています。肝炎ウイルス、アルコール、脂肪肝などが原因となります。現在はB型肝炎、C型肝炎ともに治療薬が充実し、ウイルスを排除したり活性を抑えたりすることができるようになりました。一方、アルコールや脂肪肝を背景とした肝障害の患者さんは増加傾向にあります。健診などで肝機能の異常を指摘された場合にはかかりつけの先生にご相談いただき、定期的な肝機能のチェックやエコー検査を実施していただくのが良いでしょう。

先生が専門とされる肝臓外科、特にロボット手術を含めた低侵襲手術について教えてください。

肝臓は体の中で最も大きな臓器であり、1～1.5kg程度の大きさがあります。したがって肝臓の手術の際にはお腹を大きく開けて手術を行う必要がありました。近年、お腹に開けた複数の小さな傷（1cm程度）からカメラや手術器具を挿入して手術を行う、腹腔鏡あるいはロボット支援下手術（低侵襲手術）が急速に広まり、肝臓外科の領域においても主流となってきました。低侵襲手術は傷が小さいために術後の痛みが少なく、体力の回復が早い傾向にあります。外科医の視点からも、高性能なカメラで拡大して見られることで小さな脈管の処理

も確実に行うことができる、お腹の中に炭酸ガスを充填して膨らませて手術を行うため出血量が少なくなる、など手術関連合併症の減少が期待できます。このため、当院でも低侵襲手術を積極的に実施しており、2024年は肝切除全体の75%を占めました。今後、ロボット支援下の手術がさらに増える見込みです。

ただし、あくまでも低侵襲手術は安全性が担保されてこそ、と考えています。肝臓は血流が非常に豊富で多くの重要な脈管に隣接しています。腫瘍が大きい場合、個数が多い場合、血管や胆管の合併切除や再建が必要な場合には、従来通り開腹手術で行うことがあります。



ロボット手術を含めた低侵襲外科は、今後の医療をどのように変えていくのでしょうか。

腹腔鏡手術の導入により、非常に精緻な手術が可能となりました。切除する範囲を蛍光色素で明らかにすることで、術前に予定した範囲を過不足なく切除することができます。ロボット手術は腹腔鏡と比較してカメラもさらに高性能になり、3Dかつ高倍率での観察が可能です。手ブレもなく、アームの関節が多いので自在な動きができるようになりました。これは縫合のときに非常に有利です。現状ロボットは非常に高額ですが、将来的にはさらに普及しコストも減少すると予測されています。また、AIとの融合により術中に得られる情報が飛躍的に増え、より安全な手術を行うことができると期待しています。

仕事で、こだわりを持っている事（マイルール）や大切にしている事があれば教えてください。

手術を安全に行う上で、「準備」を大事にしています。事前に十分なシミュレーションを行い、様々な可能性を考慮して手札を複数準備しておくことで、予想外の事態にも対処できるようになります。手術に参加する外科医とあらかじめ手術プランを共有しておくことは、手術の流れを円滑にするうえで非常に重要です。異なる意見や不足している箇所があれば、それを踏まえて手順を改めることもできます。また低侵襲手術では、手術室にいる医療スタッフがみな同じ画面で手術の様子を見ることができます。術中は麻酔科医や看護師にも状況が伝わるように、手術の進捗や自分が今考えていることをできるだけ言語化するよう努めています。

今後の目標を教えて下さい。

患者さんに最善の治療を提供することは、外科医だけの力では成し得ません。手術以外の治療、例えば抗がん剤や放射線治療など、近年非常に進歩しています。治療全体を考えたときに、手術はその一部を担うに過ぎないのです。どのタイミングで手術を行うのが良いか、どのような手術が良いか、といったことを内科や放射線科の先生方とも一緒に考えながら治療にあたっていくことが大事だと考えています。また、将来の患者さんにも最善の治療を提供できるよう、次世代の肝胆膵外科医育成も重要です。現在私は肝胆膵外科学会のNext Generation Projectの委員として活動しており、施設を超えた学習機会の提供、海外との合同企画を計画しています。



先端医療特集

心房細動に対する新治療（パルスフィールドアブレーション）

循環器内科医長　石松 卓



心房細動は、不整脈の中でも患者さんが多く、日本には現在100万人ほどいると言われています。自覚症としては、動悸、眩暈、胸部不快感などが一般的ですが、全く症状のない方もいます。心房細動になると、血栓ができやすくなって脳梗塞や心筋梗塞などの重大な疾患を引き起こしたり、心臓のポンプ機能が低下して心不全の原因にもなります。この心房細動の根治を目指す治療法に、カテーテルアブレーションという治療法があります。

従来のアブレーションには、(i)加熱して治療する高周波アブレーション・ホットバルーンアブレーション・レーザーバルーンアブレーションと、(ii)冷却して治療するクライオバルーンアブレーションがあります。いずれも、熱エネルギーを用いる治療法であるため、熱をできる限り心筋にだけ与えるような工夫をしても、ターゲットである心筋への影響に止まらずに、心臓周囲臓器（血管・食道・横隔神経など）へ障害を与えてしまうリスクがあります。

最新の、パルスフィールドアブレーションは、熱ではなくパルスフィールドエネルギーを利用する治療法です。カテーテル先端から短時間の周期で高電場（パルスフィールド）を発生させ、他の組織には影響を与えずに心筋細胞の細胞膜に対して選択的に小さな孔を生じさせて（マイクロポレーション）、細胞死を誘導します（図参照）。組織には、特異的な電場の閾値があることを利用しており、心臓周囲組織に影響を与えることなく、心筋特異的に焼灼をすることが可能になりました。







従来のアブレーションと比較して、パルスフィールドアブレーションには、有効性は同等であるものの、合併症の低減と手技時間の短縮が期待されています。

当院でも2025年2月からパルスフィールドアブレーションを導入しています。発作性心房細動に対するアブレーションのFirst-line therapyとしています。

今後とも、患者さんに対して負担が少なく、安全で有効な治療を提供したいと考えています。

TOPICS

ベトナムより留学生来る（2025冬～春編）

てんかんセンター/脳神経外科　小野 智憲


高山院長より修了証書の授与



本年1月より3カ月間、ベトナム・ハノイにあるViet Duc大学病院の脳神経外科医であるVan Dinh Tran先生が研修留学のため滞在されました。彼は機能神経外科を専門とする若手医師であり、私（小野）とは2018年にハノイの病院で一緒にてんかん手術を行ったとき以来の縁で（参考：SENSAI 2018年7・8月号）、いつかは日本に行きたいという彼の希望が実現しました。

今回の滞在中、彼にとって経験の少ない小児症例のてんかん手術を中心に見学していただきました。病棟では脳神経内科医（佐藤和明）の指導の下で脳波判読の基礎を学び、また長時間ビデオ脳波記録ユニット運用の実際や看護対応なども見学していただきました。これは彼の大きな夢でもある「母国に包括的てんかんセンターを設立する」ことに有意義な経験になるかと思います。

来日が2025年1月で、長崎では珍しく雪が薄っすら積もった日に到着し、彼にとって人生初の雪景色に興奮を覚えたそうです。滞在中にご家族も来日され、一緒に日本文化に触れたことは良い思

ガーデニング便り Vol.23

今回紹介するのは、「マーガレット」です。マーガレットはキク科の花で、様々な咲き方の品種や花色があります。私は写真のようなオーソドックスなひと重咲きの白色のマーガレットがお気に入りです。花言葉は、「恋占い」です。花びらの数が奇数とのことですので、「好き」から始めれば必ず・・・・。

副院長　黒木 保



い出になったようです。長崎という地方都市だと、東京や大阪などの都会のようなエンターテイメントは、ほとんどない環境で、退屈させてしまうのではないかと当初心配でした。しかしながら、逆に「ハノイの騒然さとは全く違う!」静かな環境で過ごす時間は、自身のこれまでを振り返ったり、これからの目標を立てたり、たくさんの事を考える良い環境であったと言っていただけて、我々もほっとしました。



帰国して約2週間後、早速彼から連絡がありました。内科医を含めてチームを結成したので、施設間のパートナーシップの元で継続的な合同カンファランスを行いたいとの事でした。彼個人のキャリア獲得だけでなく、学んだことをチームメンバーと共有し、母国にてんかんセンターを設立するという高い目標に向けて動き始めた姿を見て、我々自身も非常に嬉しく思いました。





手術見学後(一番左がTran先生)。



雪が舞う中、長崎で開かれていたベトナムフェスタに参加、当院研修医が案内役を手伝ってくれました。



居酒屋にて
(日本のご飯とお酒も気に入ってもらえたようです)

今月の一皿

アジにはEPA/DHAに加え骨にはCa(カルシウム)が多く含まれています。酢と合わせると酢に含まれる酢酸によりCaの吸収が良くなり効率的にCa摂取が可能になります。



#2025
アジの南蛮漬け

栄養管理室 荒木 翔太

外来診療担当医一覧表

受付時間　8時30分～11時30分（ただし急患はその限りではありません。）

（★は新患対応）令和7年8月1日現在

	月	火	水	木	金
総合診療科	当番制	当番制	当番制	当番制	当番制
肝臓内科	★長岡　進矢 ★末廣　智之 ★児嶋　知仁 山崎　一美	★佐伯　哲 ★末廣　智之 ★釘山　有希	★小森　敦正 ★山﨑　一美 佐伯　哲	★長岡　進矢 ★本吉　康英 ★小森　敦正	★本吉　康英 ★釘山　有希
消化管内科	★西山　仁	★後藤　高介 ★峯　彩子	午前　★西山　仁 午後　★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患 専門外来）		★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患　専門外来） ★今村　祥子
内分泌・代謝内科	★安井　順一 ★加藤　遼 徳満　純一	★徳満　純一 安井　順一 加藤　遼	★安井　順一 徳満　純一	★徳満　純一 ★加藤　遼 安井　順一	
腎臓内科	★岡　哲 中村　麻衣子		★田川　孝樹 岡　哲	中村　麻衣子	★中村　麻衣子 田川　孝樹
循環器内科　午前	★於久　幸治	★福田　侑甫	★森　彩	★松尾　崇史 ★石松　卓（不整脈）	★深江　貴芸
循環器内科　午後	★小出　俊朗	★石松　卓（不整脈） ★福田　侑甫	於久　幸治	石松　卓（不整脈）	
呼吸器内科	★原　敦子 池田　喬哉	★川嵜　光一	近藤　晃 ★池田　喬哉	★乗富　大地	★近藤　晃 原　敦子
血液内科	午前　小林　裕児 午後　★渡辺　春香	★今泉　芳孝	吉田　真一郎	午前　今泉　芳孝 午後　★小林　裕児	午前　吉田　真一郎 午後　★桐野　祐子
脳神経内科（神経内科）	★徳田　昌紘 ★佐藤　和明 足利　裕哉	★岩永　洋 ★足利　裕哉	徳田　昌紘		★岩永　洋 徳田　昌紘
膠原病・リウマチ内科	★岡田　覚丈		★岩永　希	★岩永　希	午後　★岡田　覚丈
小児科　午前	★本田　涼子（神経） ★桑原　義典 （心臓・一般） ★西口　奈菜子（神経・一般）	★本村　秀樹（心臓） ★石橋　洋子（一般・心臓） ★濱口　陽（新生児・乳児） ★石橋　信弘（心臓・一般） 田中　茂樹（神経）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★本田　涼子（神経） ★和泉　啓（内分泌） ★桑原　義典（心臓・一般）	★西口　亮（新生児・乳児） ★石橋　洋子（心臓・一般） ★石川　太郎（一般） ★池田　憲呼（神経・一般）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★石橋　信弘（心臓・一般） ★石川　太郎（一般） 本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経）
小児科　午後	本村　秀樹（心臓） 発達外来	★本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経）	一ヶ月健診 ★大学医・当番医（内分泌）	発達外来	シナジス外来
皮膚科　①外来紹介・新患	★石川　博士	★中牟田　瑠璃	★石川　博士 午後　★宿輪　哲生	★中牟田　瑠璃	★濱辺　真奈
皮膚科　②旧患	中牟田　瑠璃	石川　博士	濱辺　真奈	石川　博士	中牟田　瑠璃
皮膚科　③入院中の紹介	濱辺　真奈	濱辺　真奈	中牟田　瑠璃	濱辺　真奈	石川　博士
外科	★黒木　保（胆・膵） 釘山　統太 （胆・膵・一般外科）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） ★福井　彩恵子（一般外科） ★南　恵樹（乳腺・内分泌外科） ★森田　道（乳腺・内分泌外科）	★原　貴信（肝）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） 藤井　美緒（一般外科） ★南　恵樹（乳腺・内分泌外科） ★森田　道（乳腺・内分泌外科）	★竹下　浩明 （大腸・肛門・一般外科） ★大石　海道（大腸・肛門） 藤岡　ひかる （肝・胆・膵・消化器）
呼吸器外科			★田川　努 ★松本　理宗		
心臓血管外科			★有吉　毅子男 ★嶋田　隆志		★有吉　毅子男 ★嶋田　隆志
脳神経外科	★小野　智憲 ★原口　渉	★案田　岳夫	★定方　英作	午後　原口　渉	★小野　智憲 ★後藤　純寛
整形外科・リハビリテーション科	★伊藤　勇人	宮本　俊之（★ 第1・3・5） （再 第2・4） 梅木　雅史（★ 第2・4） （再 第1・3・5）	★前田　純一郎	★伊藤　勇人 向井　順哉	下永吉　洋平
形成外科	★藤岡　正樹 ★吉田　大作	★吉野　健太郎	★藤原　洸平	★藤岡　正樹 ★吉田　大作	★藤原　洸平 ★吉野　健太郎
産婦人科	★古賀　恵 ★福田　雅史 プレコンセプション外来	★安日　一郎 ★山下　洋 胎児スクリーニング外来	★菅　幸恵 ★杉見　創 産褥1ヶ月検診（午後）	★五十川　智司 ★山口　純子 子宮鏡外来 ワクチン外来	★福田　雅史 ★小川　真幸 レジデント外来 NIPT 外来
泌尿器科	★大仁田　亨 鹿子木　桂	錦戸　雅春	★近藤　翼	★鹿子木　桂	★大仁田　亨 ★川島　大輝
移植後フォローアップ外来	錦戸　雅春	松屋　福蔵	錦戸　雅春		大仁田　亨
耳鼻咽喉科	★田中　藤信 ★吉田　晴郎 ★神田　悠志	★吉田　晴郎	★田中　藤信 ★前田　耕太郎 ★神田　悠志	★吉田　晴郎	★田中　藤信 ★前田　耕太郎
眼科	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★吉村　遥香 ★大槻　早紀	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★吉村　遥香 ★大槻　早紀	午後　中尾　志郎	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★吉村　遥香 ★大槻　早紀	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★吉村　遥香 ★大槻　早紀
放射線科（治療）	本多　功一 武田　達哉	★本多　功一 ★武田　達哉 中村　太祐（午後のみ）	本多　功一 武田　達哉 中村　太祐（午後のみ）	本多　功一 武田　達哉	★本多　功一 ★武田　達哉

※紹介状なしで受診を希望される患者さんにつきましては、診察料とは別に、選定療養費として7,700円をご負担いただきます。
ただし、紹介状がある場合は選定療養費（7,700円）の負担はありません。「かかりつけ医」等からの紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。

理　念

高い水準の知識と技術を培い
さわやかな笑顔と真心で
患者さん一人一人の人格を尊重し
高度医療の提供をめざす

長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実に行い、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 安全で質の高い医療を提供する
- すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 救急医療の最後の砦となる
- 臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する
- 地域の医療機関、行政と密接に連携する

外来担当医一覧の最新版は
こちらからご覧ください

長崎医療センター NEWS
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS
https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/
VOL.436